



平成30年12月3日

各 位

会社名 株式会社ディー・エル・イー
代表者名 代表取締役 椎木 隆太
(コード番号 3686 東証第1部)
問合せ先 執行役員 高倉 喜仁
(TEL 03-3221-3980)

(訂正)「平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年11月14日に開示いたしました「平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年12月3日)付「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー

コード番号 3686

URL <http://www.dle.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役

（氏名） 椎木 隆太

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼経営戦略統括本部長

（氏名） 川島 崇

（TEL） 03-3221-3980

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年6月期第1四半期の業績（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	193	—	△116	—	△114	—	△114	—
26年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△6.92	—
26年6月期第1四半期	—	—

（注）当社は、平成26年6月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年6月期第1四半期の数値及び平成27年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,644	1,101	67.0
26年6月期	1,696	1,213	71.6

（参考）自己資本 27年6月期第1四半期 1,101百万円 26年6月期 1,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年6月期の業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200 ～2,620	52.4 ～81.5	433 ～557	112.4 ～172.6	427 ～551	142.0 ～211.7	271 ～351	63.6 ～111.8	16.47 ～21.31

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期1Q	16,495,800株	26年6月期	16,483,800株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	—株	26年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期1Q	16,494,510株	26年6月期1Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、急夏場の天候不順や急激な円安の影響もあり、個人消費の持ち直しは足踏みの状況がみられます。

当社を取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスの普及が世界規模で急速に拡大し、それに伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどの新たなサービスの利用も急速に拡大しております。

そのような環境変化は、人々のライフスタイルを、スマートデバイス等を使い、最適メディアを選択し、必要なときに必要な時間だけコンテンツを消費し、SNS等を使って、即時に情報や感動を共有するといった、メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化へと世界規模で変化させ、「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」といった新たな付加価値へのニーズを急速に拡大させております。

このような事業環境の中、当社では、視聴者や消費者等の多様化し変化の早い嗜好や価値観、旬な時事ネタ等を捉え、適時に対応することを強みとする、ファスト・エンタテインメント事業を展開し、インターネット時代にマッチしたショートコンテンツを量産してまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、新規又は既存のソーシャル・キャラクターを開発・活用し、広告主向けのソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスの提供及びスマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等のデジタルコンテンツの企画開発・配信を行っております。

当第1四半期累計期間においては、スマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等の新規開発が順調に推移した一方、開発体制の強化を図るため、人員採用と教育を進めました。また、ナショナルクライアントや地方自治体向けのマーケティング・サービスにおいては、季節的な要因もあり当第1四半期は販売が低調に推移したものの、今後の需要拡大に向けたサービス体制の強化を図るため、人員採用と教育を進めました。

IPクリエイション領域においては、IPの映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第1四半期累計期間においては、「秘密結社 鷹の爪」、「パンパカパンツ」及びその他IPのTVシリーズ・WEBシリーズの継続により、既存IPの認知度向上及び世界観醸成に努めました。当第1四半期においては、劇場公開作品や新TVシリーズ等の制作仕掛期間であったこと及び、一部のプロジェクトに関しては、パートナー、契約条件及び公開時期をより効果的に決定するために、製作委員会の組成を第2四半期以降に変更したこともあり、販売は低調に推移したものの、共同キャラクター事業等による新規IPの創出に向けた取り組みは、概ね順調に推移いたしました。

その他、スマートフォン向け15秒動画SNSアプリ「Mechika（メチカ）」を運営するGlue-th株式会社への第三者割当増資の引受、及び「Mechika」のエンジンを活用した新規サービスのスマートフォン向け動画コミュニケーションアプリ「ShowMeEx（ショーミックス）」の開発を推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は193,583千円、経常損失は114,084千円、四半期純損失は114,084千円となっております。

なお、当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して51,669千円減少し、1,644,357千円となりました。これは仕掛品67,894千円及び投資その他の資産のうち、投資有価証券65,500千円の増加があったものの、現金及び預金131,095千円、受取手形及び売掛金67,219千円及び出資金36,066千円の減少を主要因とするものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して60,015千円減少し、542,508千円となりました。これは買掛金39,101千円、前受金101,617千円の増加があったものの、短期借入金30,000千円、1年内返済予定の長期借入金11,014千円、長期借入金12,882千円及び未払法人税等11,572千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計額は、四半期純損失114,084千円の計上及び新株発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加2,400千円により、前事業年度末と比較して111,684千円減少し1,101,849千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の業績予想につきましては、概ね当初の見込みどおりに推移しており、平成26年8月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,779	932,684
受取手形及び売掛金	243,859	176,640
商品	12,043	18,827
仕掛品	27,317	95,212
その他	8,481	49,138
流動資産合計	1,355,481	1,272,503
固定資産		
有形固定資産	7,541	8,585
無形固定資産	15,635	16,466
投資その他の資産		
出資金	268,247	232,181
その他	49,121	114,621
投資その他の資産合計	317,369	346,802
固定資産合計	340,545	371,854
資産合計	1,696,026	1,644,357
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,926	100,028
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	73,526	62,512
未払法人税等	11,572	—
前受金	121,934	223,551
その他	101,699	86,463
流動負債合計	399,659	472,556
固定負債		
長期借入金	82,834	69,952
固定負債合計	82,834	69,952
負債合計	482,493	542,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	739,285	740,485
資本剰余金	516,785	517,985
利益剰余金	△42,536	△156,620
株主資本合計	1,213,533	1,101,849
純資産合計	1,213,533	1,101,849
負債純資産合計	1,696,026	1,644,357

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	<u>193,583</u>
売上原価	<u>153,119</u>
売上総利益	<u>40,464</u>
販売費及び一般管理費	<u>157,399</u>
営業損失(△)	<u>△116,935</u>
営業外収益	
受取利息	84
為替差益	3,680
その他	0
営業外収益合計	<u>3,764</u>
営業外費用	
支払利息	409
株式交付費	505
営業外費用合計	<u>914</u>
経常損失(△)	<u>△114,084</u>
税引前四半期純損失(△)	<u>△114,084</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>二</u>
法人税等合計	<u>二</u>
四半期純損失(△)	<u>△114,084</u>

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。